

## 本番を迎えた「大学受験商戦」（日本）

### 1. 「受験商戦」とは？

1月14日(土)・15日(日)のセンター試験を皮切りに、大学受験シーズンが本格化。一方で、近年では「受験」に関わる商品やサービスが数多く誕生。受験生の周りでは、「受験商戦」も激しさを増しています。

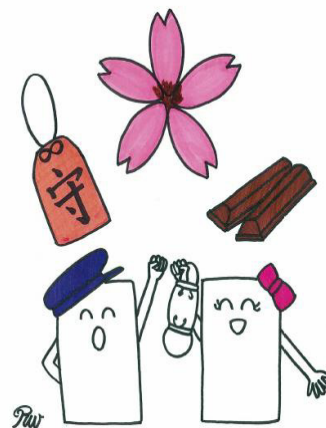
### 2. 最近の動向

近年の「受験生応援グッズ」は、昔からの定番モノだけではなく、様々な『験担ぎ』へと広がりを見せています。

代表的なモノとしては、縁起の良い切符(南海鉄道の学文路くかむろ>駅の入場券など)や落ちないお守り(千葉モノレールの引退車両からワイヤーを取り外し、カプセルに閉じ込めたものなど)などがあります。

食べ物では、今や受験生の4人に1人が受験会場に持ち込んでいられる定番のチョコレート菓子。数ある受験菓子のなかでも元祖と呼ばれるこのお菓子は、合格祈願パッケージで売り出した当初、前年同期比で約6割も売り上げが伸びたそうです。

宿泊サービスでは、地方の受験生のための「受験生応援プラン」。風邪を予防するため、室内に加湿空気清浄機を設置して、マスクも常備。夕食は唐辛子で身体を温める韓国料理が出るなど、至れり尽くせりです。



### 3. 今後の展開

大手飲料メーカーの調査によれば、4人のうち3人程度の受験生が『験担ぎ』を行っているそうです。普段は、節約志向や低価格志向に流れがちな消費者も、この時ばかりは財布の紐を緩めているようです。受験の本質は、自分自身との戦いです。そんな受験生の心に癒しと勇気を与えてくれる「受験生応援グッズ」は、何ものにも代え難いのかもかもしれません。

そして少し気の早い話ですが、大学に入学した後に迎える次の関門は「就職」です。今週、文部科学省と厚生労働省が発表した、今春卒業予定の大学生の就職内定率(昨年12月1日現在)は71.9%でした。1996年の調査開始以降では、前年に次いで過去2番目に低い水準です。今年の春に入学を迎える大学生が卒業する頃には、円高や欧州の債務問題が遠い昔話になっていることを願いつつ、受験生の皆さんのご健闘をお祈りしたいと思います！！

弊社マーケットレポート

検索!!

2012年01月17日【キーワード No.752】ユーロ安による「円高還元」の状況(日本)

2012年01月17日【ディリー No.1,199】米国・ユーロ圏・日本の雇用関連統計(12月)～失業率は米独で低下、日本は横ばい～

☆本日の「マーケット・キーワード」のラジオ番組放送内容は、こちら！！☆

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。

## 【投資信託商品についてのご注意(リスク、費用)】

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等(外貨建資産には為替変動もあります。)の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.675%(税込)
  - ・・・換金(解約)手数料 上限1.05%(税込)
  - ・・・信託財産留保額 上限0.5%
- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限1.995%(税込)
- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております(当資料作成基準日現在)。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。



三井住友アセットマネジメント株式会社